

記者発表資料

「現場施工品質確保型」による総合評価落札方式
の試行について

関東地方整備局では、工事目的物の品質向上を目指し、現場従事技術者の能力に評価点を設け、「企業の施工能力」の評価点ウェイトを高くする「現場施工品質確保型」による総合評価落札方式の試行をします。

この方式の対象とする堰堤は、耐摩耗性の向上、及び登録有形文化財に登録された歴史的砂防施設(堰堤)が連たんしている稻荷川砂防堰堤群の下端に位置しており、景観にも配慮して表面を間知石積みになっています。このため、間知石積みに係わる現場従事技術者の能力が重要であり、間知石積(張)に係わる技能等について評価します。

なお、本工事では技術提案の採否通知の他に、個別提案項目の評価の有無についても通知します。

テングサワカリユウダイチサボウエンテイコウジ

- ◆工事名 : 天狗沢下流第1砂防堰堤工事(平成22年6月18日公告)
- ◆地先名 : 栃木県日光市日光地先
- ◆工事概要 : 砂防堰堤(高さ8.5m、堰堤長128m)



発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、埼玉県政記者クラブ

問い合わせ先
企画部 技術調査課 建設専門官 マルヤマ ヒトシ 丸山 日登志 (内線3257)
河川部 河川工事課 課長補佐 スズキ ヒロユキ 鈴木 浩之 (内線3715)
電話 048-601-3151(代表)

総合評価落札方式における「現場施工品質確保型」の試行

■概要

関東地方整備局では、工事目的物の品質向上を目指し、工事の施工に係る元請け又は下請け企業が配置する**現場従事技術者**(元請けの主任又は監理技術者を除く)が建設技能顕彰等の受賞実績等を有している場合において、**「企業の施工能力」の評価点ウェイトを高くする総合評価方式を試行する。**

■対象工事

3億円以上の本官工事(WTO工事は除く)

- ・比較的工事規模の大きい工事
- ・複数の作業が伴い、専門的に技術者が配置される工事

■評価方法

総合評価の評価項目のうち、「企業の施工能力」において、現場従事技術者の項目を新たな評価項目として設定

○今回の工事での対象技能：**間知石積(張)の従事に求める建設技能等**

- ・登録基幹技能者 薦・土工
- ・建設マスター 石工、建設機械運転工、とび工
- ・現代の名工 石積工、建設機械運転工、とび工

○評価点

以下の建設技能等の実績を有している場合において評価。

- ・登録基幹技能者
 - ・優秀施工者国土交通大臣顕彰(建設マスター)
 - ・現代の名工
- } 1人(1点)
} 最大3名まで評価
- ※一人の者が、複数登録していたとしても評価は一人分